

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	16	学校名	御所実業高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	小学生にもものづくりのおもしろさを伝えよう
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	薬品科学科3年生の課題研究として行った。 主体的・協働的に研究してきたことを整理・分析する中でコミュニケーション能力を育成するとともに、ものづくりのおもしろさをよりわかりやすく小学生に伝える力を養うことを目標に行った。
連携・協働相手	掖上小学校
地域と共有している目標・課題等	小学生の科学や製薬、ものづくりに関する興味を深める、生徒の表現力の向上、校種間の連携機会増加
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
連携している掖上小学校に出向き、課題研究で研究してきた内容（柔軟剤の作製）を小学生に伝え、実際にもものづくり体験を実施した。生徒が研究してきたことを効果的に伝えるため、生徒同士がコミュニケーションをとりながら、ものづくりを体験してもらううえでの注意や技術を共有し、スライドによりわかりやすく伝える工夫を行った。	

2. 事業の成果と課題

<p>3年時の課題研究において、主体的・協働的に柔軟剤の作製について研究してきたことを整理・分析する中で、協調性やコミュニケーション能力を養うことができた。</p> <p>小学生にもものづくり体験をしてもらう際、作製手順をイメージしやすいように、柔軟剤の作製手順のパワーポイントを使ってスライドを作製した。スライドには、柔軟剤のクイズを作成したり、画像を多くしたりしようと生徒同士がコミュニケーションをとりながら、小学生にもものづくりのおもしろさを伝えるための工夫を行った。</p> <p>【生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで協力して活動することができた。目標を立てて準備し、実行する力を養うことができました。 ・小学生たちがとても楽しそうに取り組んでくれたところに達成感を感じました。
--

